

トップメッセージ



日ごろより三井住友海上あいおい生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
当社は2016年10月に創立5周年、損保系生保設立からは20周年を迎えました。ご支援ご愛顧を賜りました多くの皆さまに心より深く感謝申し上げます。

2016年度を振り返って

2016年度のがわが国経済は、マイナス金利政策による長期金利の低下などの影響があったものの、雇用情勢の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられ、また設備投資や企業収益にも引き続き改善傾向がみられるなど、緩やかな回復基調をたどりました。

生命保険業界におきましては、厳しい市場金利環境が続く中、少子高齢化の進行やライフスタイルの変化に対応したきめ細かな商品・サービスの提供など、一層の企業努力が求められています。

2016年度より、中期経営計画「Next Challenge 2017 ステージ2」がスタートし、「業界トップ水準の品質と飛躍的な成長の実現」に向けて取組みを進めてまいりました。

品質面では、募集人のコンサルティング力を向上させ、お客さまに常に高い品質のサービスを提供することを目指し、教育研修機関である「MSA生命アカデミー」を立ち上げました。また、HDI-Japanが主催する「HDI格付けベンチマーク」において、生保業界初となる「Webサポート」、「問合せ窓口」、「モニタリング」の3部門で最高評価の三つ星を同時に獲得することができました。

成長面では、短期入院から長期入院までの手厚い保障に加え、保険料払込免除特約の保障内容などを充実させた「新医療保険Aプラス」を2016年5月に発売し、販売件数が11ヵ月で17万件を超え、多くのお客さまのご好評をいただきました。また、2017年1月には、企業の役員・従業員の遺族保障を目的とし、福利厚生制度を下支えする無配当総合福祉団体定期保険の改定を行い、商品競争力を向上させました。

このような取組みにより、当社は引き続き順調に業績を伸ばし、個人保険および個人年金保険の新契約高は2兆3,771億円となり、保有契約高は前年度末比2.8%増加し、23兆2,142億円となりました。生命保険会社における保険金等支払余力を表すソルベンシー・マージン比率は1,893.2%と、引き続き高い健全性を維持しています。

中期経営計画「Next Challenge 2017 ステージ2」は最終年度へ

2017年度は中期経営計画「Next Challenge 2017 ステージ2」の最終年度となり、その達成に向けて今年度も確実に取組みを進めてまいります。

品質面では、お客さま目線ですべての業務プロセスにおいて最高品質を実現してまいります。当社はお客さまの申込手続きにおいて、モバイル端末を活用したペーパーレス化を推進していますが、2017年10月には、その場で引受可否・条件を提示することができる「自動医務査定」機能の導入を予定しています。

あわせて、人工知能(AI)やビッグデータなどの活用検討にも取り組み、サービス・利便性向上に努めてまいります。

成長面では、多様化するニーズに応えた魅力ある商品・サービスをご提供することで、少子高齢化、女性の活躍支援および健康増進などの社会的課題の解決に貢献してまいります。2017年4月には「働けなくなるリスク」への保障を拡充させた新商品「新総合収入保障・新収入保障」を発売しました。

当社は、2017年6月に「お客さま第一の業務運営に関する方針」を公表しましたが、これからもお客さま本位の保険事業を遂行し、お客さま・社会から信頼される企業を目指していきます。また、MS&ADインシュアランスグループの国内生保事業を担う中核生保会社として、ERM経営の高度化と経営基盤の強化を通じて企業価値を持続的に拡大してまいります。

今後とも、当社をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年7月

三井住友海上あいおい生命保険株式会社 取締役社長

丹保人重